

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点1 行政との連携や働きかけ

- ・令和3年度から校務支援システムが導入された。教職員の勤務管理（在宅勤務時の報告含む）や職員間の連絡、通知表の入力及び管理、指導要録への反映などにより、時間短縮等につながった。

- ・感染拡大防止のための環境整備の推進が図られたことで消毒の時間が減少した。

（体温自動承認，自動水栓，空気清浄機，パーティション）

- ・休校時にタブレット端末を活用したオンライン授業を実施した。インターネット接続のための環境が整っていない家庭への支援を要望している。
- ・一人一人の豊かな学びの実現に向けた教育活動の推進が必要である。そこで、下記の要望を行った。

授業目的公衆送信補償金制度の活用

双方向型学習支援ツールの導入

- ・メール機能を活用した検温等の健康観察ができるシステムの導入及び留守番電話機能の設置を要望している。

視点2 自校での取組

○小学校での取組

- ・行事の見直し及び精選を図った。（運動会半日開催，日帰りでの宿泊学習，文化的行事の中止（授業参観のみ）等）
- ・放送による始業式・終業式を実施し，感染防止，時間短縮を図った。また，児童数が少ない学校では，適宜体育館等で一斉に実施した。
- ・休校時のオンラインでの朝の会や授業を実施した。
- ・密を避けるためタブレット端末を活用し，学級を2つに分けた少人数での授業展開。

○中学校での取組

- ・行事の見直し及び精選を図った。体育祭の平日半日開催。また，校舎内での密を避けるため，文化祭や授業参観時に保護者の入場制限を行った。
- ・休校時のオンラインでの朝の会や授業を実施した。
- ・2学期以降，週時程を見直し，週2回5時間授業を実施している。
- ・トイレやドアノブなどの消毒を，持続性の高い消毒液を使用することで回数を減らしている。

視点3 次年度に取り組みたいテーマ

- ・本町では，下記2点のテーマについての意見がでました。

「感染症対策を踏まえた働き方改革」について

「子供達の学びの質を確保した働き方改革」について